

# 令和3年度第1回上下水道事業審議会 議事概要

## 1 日時及び場所

令和3年10月27日（水） 午前10:00～11:45  
知立市役所3階 第2・第3会議室

## 2 出席者及び欠席者

- (1) 出席者（8名）
- (2) 欠席者（2名）
- (3) 事務局（9名）
- (4) 傍聴人（0名）

## 3 議題及び内容

- 1 あいさつ
- 2 諮問
- 3 報告
  - 【水道事業】令和2年度 水道事業会計決算についての報告
  - 【下水道事業】令和2年度 下水道事業会計決算についての報告
- 4 議題
  - 【下水道事業】下水道使用料の改定について
    - ・下水道使用料の改定について（下水資料1）
- 5 その他

## 4 議事概要

議題

- 【下水道事業】下水道使用料の改定について  
事務局説明、審議委員に意見聴収後、使用料改定基本方針パターンを決定

## 5 主な意見、質疑応答

議題

- 下水道使用料の改定について

【委員】

知立市の目標使用料単価は。

【事務局】

昨年度作成した知立市下水道事業経営戦略で策定したとおり、令和5年度に125円/

m<sup>3</sup>を目標としている。

【委員】

現在の使用状況のまま使用料改定を行ったと仮定すると、見込みの収益増加額はいくらになるのか。

【事務局】

下水道使用料収益の見込みは 1.25 倍になる見込み。

【委員】

下水道使用水量が 1,000 m<sup>3</sup>以上の使用者の件数は。

【事務局】

令和 2 年度実績にて 122 件。

【委員】

基本料金のみ使用者や下水道使用水量 1,000 m<sup>3</sup>以上の使用者もいる中で、どこかを重点的に改定することは難しい。

【委員】

増加率が緩やかであり、平等性の観点からみても従量使用料の一律改定が良い。

【委員】

昨今の新型コロナウイルスの影響で市内事業者も疲弊している状況。

安直に従量使用料を一律改定するのはいかがなものか。

【委員】

平等性に重きを置きながら従量使用料単価を一律改定することが望ましいとは思いますが、新型コロナウイルスの経済的影響は今回の使用料改定に加味すべき。

【事務局】

従量使用料単価を一律改定するのではなく、増加率で一律改定する等のパターンも検討の余地はある。

【委員】

従量使用料単価の区分が 101 m<sup>3</sup>~1,000 m<sup>3</sup>となっているが、この区分を 500 m<sup>3</sup>で細分化することは可能なのか。

【事務局】

区分の細分化は可能。

【委員】

単身者の中には若い世代だけではなく、限られた収入で生活をしている高齢者もいる。使用水量の少ない使用者を重点的に改定するとなると、そういった方への負担が大きくなってしまふことが懸念される。

【委員】

大口使用者や中小企業が受けた新型コロナウイルスでの経済的影響を加味する必要あり。企業を誘致しやすくすることや人口の転出を減少させることを考慮し使用料改定を考え

るべき。

**【委員】**

水道使用者は無駄に水を使用しているわけではないので、従量使用料のどこかを重点的に改定するとなると不平等感が否めないため従量使用料の一律改定が望ましいと考える。

**【委員】**

意見を総括すると全体的な使用料改定をベースに従量使用料の区分の細分化や新型コロナウイルスでの経済的影響を含めて次回以降検討するというところでよろしいか。

**【各委員】**

(異議なし)